

10.九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)		乗用車販売店（販売担当）	・このまま株価高騰が続けば、消費にも良い影響が出る。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・年末にかけて大型店舗の入替えがほぼ完了するため、施設全体の今後の来客数と販売量は確実に拡大してくる。また商圏内の景気動向も大きな不安要素もなく、年末から春先にかけては確実に景気が良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・外国人観光客の勢いも衰えず、高額商品の売上が伸びている。
		商店街（代表者）	・客の様子は以前よりも財布のひもが緩み始めており、まとめ買いが見られるようになってきた。
		商店街（代表者）	・現在の状況が最悪なので、年末商戦や初売り等で今よりは良くなる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・移転に際し、改修や補修等に時間と費用を要しており全体的に見ると景気は良くないが、花の配達全国組織に加入したことにより月に20万円の売上が出ており、今後景気は良くなる。
		百貨店（営業担当）	・紳士衣料品、雑貨、婦人雑貨、化粧品や、リビング用品、寝具、浴室用品、インテリア、食器等の自家需要品目も好調である。また、し好性の高い輸入品雑貨、美術工芸も依然好調で、慎重な購買姿勢はまだ続いているが購入客数、1品単価の回復の兆しがあり、年末年始は期待できる。
		百貨店（マネージャー）	・外国人観光客の購入が好調を継続する。
		百貨店（店舗事業計画部）	・消費に慎重な姿勢は変わらないが、一方で行事に際しては吟味して高額品を購入する客が増えている。正月、バレンタイン、入学や卒業需要がある春先までは現在の調子が続く。
		百貨店（営業統括）	・安定した株高と他国景況の良さから、不安要素が薄れつつある。企業業績の好調も続き、冬のボーナスは多少なりとも消費に回される可能性が高まってきている。
		百貨店（経営企画担当）	・年末商戦に向け、客が買い控え始めた。価格志向の強まりが依然として続いている。
		スーパー（店長）	・現在の状況と新年を迎えることからやや良くなる。
		コンビニ（エリア担当・店長）	・年末年始に向けての商品が少しずつ動いている。今後少しは良くなる。
		家電量販店（総務担当）	・寒い冬が予想されているので、冬商戦・年末商戦に期待している。
		家電量販店（広報・IR担当）	・景気は着実に上昇傾向にあり、それが賃上げ等で一般客に感じられるようになるまでは多少の時間が掛かる。
		家電量販店（従業員）	・年末年始に向けての買換えと、寒くなってきて季節商材の需要が増える。
		その他専門店〔コーヒード豆〕（経営者）	・12月になるとお歳暮時期に入る。通常の自宅用に加え、贈答品も出るので客単価も上がる。それに伴い売上も今後増加する。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	・年末年始の休みが例年よりも少ないため、観光客の増加が見込めず大幅な売上増は期待できない。
		高級レストラン（経営者）	・年末年始は忘年会や新年会がある。また大河ドラマの影響で当県への流入がますます多くなり、それに伴い様々な宣伝活動が行われ、良くなっていく。
		高級レストラン（従業員）	・忘年会の時期になるので来客数が変わる。
	一般レストラン（経営者）	・催事の集客も良く予約も確実に増えている。年内はこの調子が続く。	
	旅行代理店（従業員）	・売手市場の学生の動きがようやく見え始めており、単価は安いが多くの集客を期待している。ただ、北朝鮮情勢の長期化が予想され、一気に低迷の危険性もある。	
	タクシー運転手	・街の活気が維持できているので今後も堅調さは続く。	
	通信会社（企画担当）	・年度末にかけて、現在より販売量は増える。前年度より自治体公示が遅く内容によっては多いため、集中する。	
	通信会社（営業）	・年末需要及び客に対する提案を強化する。下半期からの販売量・客単価からやや良くなる。	
	通信会社（企画担当）	・新商品の売上寄与が、引き続き見込める。	
	競輪場（職員）	・年末に向け、お金の動きが良くなることに合わせ、売上に良い影響がある。	

美容室（経営者）	・当業界では年末年始は非常に繁忙期になる。ボーナスシーズンでもあり景気も回復してくる。景気が長続きするかどうかは分からないが、年末年始は客の動きが出てくるので上昇する。
設計事務所（代表）	・株価が良い。
商店街（代表者）	・小売業は相変わらず厳しい状況で売上はこれ以上は減らないところまで低迷しているが、伸びていくわけでもない。なんとか維持している現状である。
商店街（代表者）	・特に良くなる要素も悪くなる要素もない。
商店街（代表者）	・12月だけが良く、年明けは冷え込む。
商店街（代表者）	・収入が増えずに税金や保険が年金から多く差し引かれており、消費にはつながらない。
商店街（代表者）	・年末年始なので売上を伸ばしたいが、客の買物はその日の買物ばかりでまとまった買物がなく売上が伸びない。
商店街（代表者）	・消費が活発になる雰囲気がない。ダイレクトメールで消費を促しているが前年売上を維持するのが精一杯である。
百貨店（営業担当）	・一般的に言われているのが景気回復と賃金の関係であるが、11月末からボーナスの支給が始まるので、動きに注目している。12月が良い方向に行けば3か月先も継続できるが、12月のボーナス商戦が前年を割るようなことになればこの先厳しくなる。
百貨店（営業担当）	・状況が変わる準備が整っていない。
百貨店（業務担当）	・しばらく高額品の動きがみられたが、それも少し落ち着いた。年末商戦に向かうなかで、消費をけん引する商品がどの部門にもなく期待が持てない。
百貨店（売場担当）	・来客数が前年を超えない状況が続いているのが懸念材料である。県庁と県警が駅の裏に移転するので商圏地図が変わってくる。天候要因もあるがなってみないと分からないので何とも言えないが小康状態は保っている。
百貨店（売場担当）	・所得の増加による購買意欲の上昇要因が見当たらない。
スーパー（店長）	・食料品の値上げがかなり響いてきている。今後も給料やボーナスが増えない限り状況は良くなる。販売量の減少につながっている。
スーパー（店長）	・熊本地震後、閉まっていた競合店が出そろって1年になるが前年比97～98%で推移している。年末の季節商材はイカが不漁で相場が上がっており鮮魚が厳しくなる。年々正月の商材が売れなくなってきているので、通常食を一生懸命売って前年並みを目指す。
スーパー（総務担当）	・株価の上昇や東京オリンピック関連の話題等、消費に好材料となるような要因もあるが、個人の所得に反映するまでには至っておらず、客の価格選別志向は引き続き根強い。また、ディスカウントストアやドラッグストアの出店攻めもあり、当面は来客数の増加が見込まれる状況ではない。
スーパー（統括者）	・企業業績も回復基調で、株価も順調に上がっているが、国民の手取り収入にはほとんど反映されていない。将来的な年金や福祉等の不安から消費支出を抑えて貯蓄をする傾向にあり、今後も食料品への支出は大きく改善することはない。
コンビニ（経営者）	・年末の予約商材についても低調な出足である。今後の見通しについては良くなる変化も悪くなる変化も顕著なものは見当たらない。
衣料品専門店（店長）	・景気は良くも悪くもならず変わらない。
衣料品専門店（店長）	・ようやく全ての避難所が閉鎖され、これから九州北部豪雨の復興事業が本格化するが、まだしばらくは悪い状態である。
衣料品専門店（店員）	・例年消費が冷え込む月であり、景気変動の要因が見当たらない。
衣料品専門店（総務担当）	・当業界における景気が良くなることない。
家電量販店（店員）	・ここ最近、来店して値段だけ聞いて帰る客が非常に多い。写真を撮って帰ってインターネットで購入するという客がおり、今後こういった状況が続く、若しくは増えてくると1～2年先はどうなるのか考えてしまう。
乗用車販売店（代表）	・変わる要因がない。
乗用車販売店（総務担当）	・来年1月に安全装備が追加された人気車種がマイナーチェンジされ発売される。販売機会を逃がさないよう販売促進策を展開し新車販売台数増加を狙う。
住関連専門店（経営者）	・ガソリンの値上がりが大きくなってきた。大手配送業者の値上げが始まり、配送コストの値上がりが経営負担になっている。政府の景気刺激策の効果に期待したい。

その他専門店〔書籍〕 (代表)	・消費増税への備えの影響がある。
ドラッグストア(部長)	・客単価が堅調であり、高額商品を中心に客の購買意欲は依然堅調である。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕(統括)	・燃料油の小売価格は、今後不透明である。冬のボーナス支給について客の様子をうかがうと例年並みに支給されるらしい。ボーナス支給後の高額洗車等の洗車関連商品の販売に期待したい。
その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕(統括者)	・格安航空便が増便され、外国人観光客は増えている。
高級レストラン(支配人)	・単価の動きとは別に客数が伸びない。
スナック(経営者)	・マスコミ報道や株価の推移では景気の上向きを示しているが、飲食業界にはその影響は感じられない。悪くなる理由もないが良くなる根拠もない。低値安定という意味で変わらない。
都市型ホテル(販売担当)	・今年度はあまり伸びておらず、あまり変わらない。
都市型ホテル(副支配人)	・年が明けて2～3月は受験の団体客や、催事があるため、現在と同様、高稼働が見込まれる。
旅行代理店(企画)	・先行販売についても、例年よりも鈍化している。
タクシー運転手	・年明けから選挙があるので、夜の忘年会のタクシー利用が多い。昼も増えてくる。
タクシー運転手	・景気は横ばいであるが、株価と一般の景気が連動していない。その点に不安がある。
ゴルフ場(従業員)	・さまざまな形で外国人観光客が当県へ入ってきており、外国人労働者も少しずつ増えている。しかし日本人の働く意欲がまだまだ足りないようで、ここしばらくは動きはない。ただ若干明るい兆しが見えているので、それに向かって真面目な経営者たちは一生懸命努力している。
競馬場(職員)	・現時点で変更となる要素が見当たらない。
理容室(経営者)	・12月は正月を控えているので良いが、2～3か月先は悪くなる。3月になると卒業、入学時期になり業界的には良くなる。
美容室(店長)	・ここ数年、美容室が増えており来客数が伸びない。景気は変わらない。
設計事務所(所長)	・定期的に役所からの発注があり受注につながっている。今後は現在のやや良い状況が続く。
設計事務所(所長)	・今後、いろいろな単価が上昇するが、業務に対する支払が追従できなくなる。
住宅販売会社(従業員)	・景気は順調に上向いていたが、ここにきて企業の不祥事等でそれに付随する点検や検査が入り、製造業に支障をきたしているところもある。景気に関してはそういった低速感が出てきたところもある。
住宅販売会社(従業員)	・景気が良くなる材料はないが、一定の新築需要は今後も続く。
一般小売店〔青果〕(店長)	・年末年始はかなり冷え込むと聞いており、かなり厳しくなってくる。客の購買意欲を向上させるような好材料もなく、横ばいもしくは厳しい状況が続く。
一般小売店〔鮮魚〕(店員)	・例年のことだが、年が明けると極端に落ち込む。年末頑張った分を全て相殺してしまうため、年末にいかにもうけを出すが問題である。景気が良いとは少しも感じられない。
一般小売店〔茶〕(販売・事務)	・年末に向けて客の購買意欲で売上が左右されるが、景気が良くなっている様子はなく例年並みになる。年末の売上はお歳暮等の贈答品もあり少し上向きにはなるが、年明けは年間を通して最も売上は低い。
スーパー(店長)	・来客数が減少し、売上が厳しい状況の中でも新規競合店の出店が当地域にも何店舗もあり、今後売上を維持することが非常に困難になる。
コンビニ(店長)	・各種景気指標は悪くないようだが、消費は今一つである。実際に当店では販売が減少気味である。
その他専門店〔書籍〕(副店長)	・近隣ビルの解体に伴う、地下入り口の閉鎖が想像以上に集客に影響している。
高級レストラン(経営者)	・12月の忘年会の予約が思うように入っていないが、満員御礼の日もある。予約がある日とない日の差が激しい。今年の忘年会の予約状況を見る限り12～2月はあまり良くない。
観光ホテル(総務)	・復興需要の力強さが薄れてきている。
都市型ホテル(スタッフ)	・10～11月程の勢いを感じず、何か対策をしないと前年には及ばない。

	通信会社（業務担当）	・年明けから手数料が減少する。個人事業者向けの通信サービス業は今後、手数料が激減する可能性が高く、代理店として今後の事業内容を見直す時期にきている。
	観光名所（従業員）	・これから閑散期に入り来客数が伸びない。
	美容室（経営者）	・あまりいい話も聞かない。チラシを作成しても客は気付かず、どうしていいかわからない。
	音楽教室（管理担当）	・働く女性が多くなったことにより稽古事をさせる時間がなくなっている。
	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・来年4月の介護報酬改定において不安要素が多く、また本格的に開始される総合事業の影響もあり、4月以降は売上減になる。
	x コンビニ（経営者）	・今後競合店の出店が決まっているため厳しい状況が続く。
企業 動向 関連  (九州)	化学工業（総務担当）	・年度末にかけて需要期となる。
	家具製造業（従業員）	・為替も比較的安定しており、北朝鮮情勢を除けば景気にマイナスの要因はあまりない。したがって現状の伸びは2020年までは続く。
	金属製品製造業（事業統括）	・次年度下期の発注量拡大は見えてきたので、次年度に向けて受注拡大が見込める。
	一般機械器具製造業（経営者）	・年末年始の動きは良くなる。例年の動きでもあるが、客先の在庫量が減ってきているため今後2～3か月は良くなる。
	一般機械器具製造業（経営者）	・客の話や引き合い状況から、この後半はこの状況が続く。
	電気機械器具製造業（経営者）	・増産に伴う生産対応で収支の改善が期待できる。
	電気機械器具製造業（取締役）	・来年にかけての数字もかなりの確度で出ている。
	精密機械器具製造業（従業員）	・受注先からの要求で2月までは受注生産増の計画があるが、これは、受注先の工事等の原因が異なるため、2月以降はまだ分からない。
	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・12月から来年にかけて新車生産に伴い増産が続く。
	その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・材料確保さえできれば生産量が増えるので今後は少しずつ回復する。
	建設業（従業員）	・見積案件も、以前と変わらず低調に推移しているが、徐々に公共工事が取れた。今後も受注に結び付く物件があるので、少しは景気も良くなる。
	輸送業（総務担当）	・工場生産増による倉庫需要、加工作業増による営業に対する問い合わせが多く、いつもの年末商戦以上に活況となる。しかしながら、物流業に携わる人手不足が大きく影響しており、物流コストが上がることで景気の足を引っ張る恐れがある。
	金融業（従業員）	・天候不順によりファーストフード店等の外食産業の売上がやや伸び悩んでいるが、海外需要が旺盛で自動車等の輸出が伸びている。また、企業の新規求人数が増加しており、雇用者所得も持ち直し傾向にある。
	金融業（営業担当）	・直近ではブラックフライデーが好調だった。年末年始の消費者の動向は悪くない。中小企業を含めて全業種において売上が伸びているのでやや良くなる。
	不動産業（従業員）	・商業施設の売上が好調に推移しており今後も継続する。
	経営コンサルタント（社員）	・よりおいしく、より喜ばれる物へのこだわりが高額商品への購買につながっている。
	農林水産業（経営者）	・12月は年末特需で大きく伸びるが1月はその反動で大きく落ち込む。2～3月は異動・行楽時期を前に需要がある程度回復してくる。ただ、販売が順調に流れても生産分野の人手不足が大きな問題で、業界全体のものづくりに大きく影を落としている。
	農林水産業（営業）	・今年はいざばらく順調である。
	食料品製造業（経営者）	・比較的堅調な販売が見込めている。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・11月は数量、売上共に伸びなければならない月であるがそうはなっていない。小売業、ギャラリー、物産館があるが、ギャラリーは前月よりはよかった。他県での直売催事は前年比同等か少し良いくらいであった。
鉄鋼業（経営者）	・多少の波はあるが出荷数量が漸増して安定しており、販売増につながっている。原料価格の暴騰は最悪の状況だが、販売価格も徐々に改善してきており、今後も物件は土木・建築共に見えているゆえ堅調に推移する。	
建設業（経営者）	・建設業は3か月くらいでは変化しない。	
通信業（職員）	・受注量に関しては、当面現在の良好な状況が続く。	

	金融業（営業）	・人材を確保できれば、もっと受注できるとの声が多い。現実には、あらゆる業種で人手不足が顕在化しており、人材が確保できていない。
	新聞社〔広告〕（担当者）	・受注量の動きに変化がない。
	広告代理店（従業員）	・11月の新聞折込受注枚数は前年同月比93%であった。健康食品・百貨店・小売業・求人関連業は好調であったが、ホームセンター・衣料品・娯楽関連業は低調であった。地元プロ野球球団の優勝によりセールが活発で小売業は久しぶりに活況を呈した。これを起爆剤としてクリスマス・年末商戦に購買意欲が活発になる。
	経営コンサルタント（社員）	・動きが活発でないのが業界の特徴である。
	経営コンサルタント（代表取締役）	・弊社のホームページアクセス数や問い合わせ件数に変化がない。
	その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	・年度末ではあるが、あまり駆け込み需要は見込めない。
	農林水産業（従業者）	・今後、産地からの出荷が出そうことから、市況は低下し、量を出せない産地は苦しむ。
	建設業（社員）	・12月補正で少しは期待できるが、大きな期待はできそうにない。補正予算を早期に発注できるようにお願いしたい。
	輸送業（従業員）	・年末に向けて荷動きが少しずつ活発になっているが、2～3か月後は年明けということもあり、荷動きが好転する要因がない。現在も倉庫は貨物があふれており、作業員不足のなかで互いに協力して何とかこなしている。
	金融業（従業員）	・今月の景気があまりにも良いため反動減になる。先行き良い材料も見当たらず今後はやや悪くなる。
	経営コンサルタント（代表取締役）	・売上を考えると通常月より良くなる傾向にあるので、12～1月は恐らく全般的に良くなっていく。3月決算企業が堅調に動いているところからも、良い状況で推移する。
	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・市町村の12月議会で補正予算が組まれるが、受注に向けて営業に行っても、コンサルタントが受注できる調査や計画、設計等に関する話題が出ないため、新たな受注の見通しが立たない。このため、景気が悪いまま推移する。
	x 繊維工業（営業担当）	・公立高校の制服が大幅な値下げを要求されているが、生産者はそれを受けてしまうと大変なことになる。
雇用 関連  (九州)	-	-
	人材派遣会社（社員）	・年度末に向けての需要が出てくる時期である。また、急な退職者の補充で依頼してきた企業も数社ある。求人数が増えていることから転職を考えている社員も潜在的に多い。直接雇用を考えて、12月の更新を迷っている派遣社員も多い。
	人材派遣会社（社員）	・短期的には年末調整業務、お歳暮関連業務等、年末年始に向けた業務発注が増える。
	人材派遣会社（社員）	・労働契約法や派遣法の抵触日に関わる法律絡みで、新年度に向けての採用の動きが活発になる。
	民間職業紹介機関（社員）	・求人数は年末年始にかけて増加する。
	人材派遣会社（社員）	・企業からの求人依頼数は増加しているが、新規登録者数が伸び悩んでいるため成約件数の増加は見込めない。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・採用難で人手不足となり、経営にも影響が出る。熊本地震に加え、九州北部豪雨の復興支援で人手が取られている。間接的には復興景気もあるが、建設土木では人手不足に悲鳴をあげている。
	職業安定所（所長）	・年末を迎えて例年求人数が増加し求職者数が減少する。そのため求人倍率は高止まりするが、年明け後も人手不足から同様の傾向で、景気としては同水準で継続する。また整理解雇等の話も聞かない。
	職業安定所（職員）	・建設業については、公費解体もある程度進み、解体関係の至急求人は減少し、代わって大工や内装の求人数が増加した。介護職やタクシー運転手等は、時給単価の上昇など可能な限り条件を良くして応募者を募っているが、求職者の数自体が減少しているため応募者の増加にはつながっていない。
	職業安定所（職員）	・建設業の組合によると公共事業に関して、新幹線工事の受注は15の大手企業が落札しており地元企業にとっては、関連する立ち退き工事やインフラ整備が発生する程度の影響しか出ていない。
	職業安定所（職業紹介）	・今後も求人数の増加傾向と求職者の減少傾向が続き、有効求人倍率は高い水準で推移する。
学校〔大学〕（就職支援業務）	・多くの中小企業は、採用予定数を充足できておらず、継続的に求人活動を行っている。景気の上昇による求人数の増加とは言い難い。	

	学校 [ 専門学校 ] ( 就 職担当 )	・ 求人数の推移に変化がない。
	人材派遣会社 ( 社員 )	・ 来年 4 月の採用に備え、欠員補充については最低限に抑えている。
	職業安定所 ( 職員 )	・ 2020年の東京オリンピックまでの受注は確保されるとの声は若干聞けるが、警備業等は人員不足で業績が下がる。
x	-	-